

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2393400094
事業所名	グループホームはなえくぼひくみ

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 認知症カフェの継続、今年度から新しく取り組んでいる健康体操教室開催等、地域住民が気軽に参加でき、利用者とは交流できる期待を推進している。地域ボランティアの受け入れも積極的に行い、利用者が知人と再会を果たす場面もある。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 毎回10名程の参加が得られ、運営報告や事故報告、ホームの日常の様子の報告等、ホームの理解を深める場として活用している。会議で聴取した意見や提案は、ホームの運営に反映させている。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 運営推進会議には、市の担当者と地域包括支援センターの参加が得られ、ホームの実状を理解してもらった上での連携を図っている。空室の情報提供、利用者紹介等の連携、運営に関する相談・報告での助言や指導等、適切に連携している。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 運営推進会議参加、ホームの行事参加等は、第三者への意見の表出の機会となっており、意見交換の中からも意向の聴取を図っている。面会時や電話連絡時には直接意見を聴き取り、聴き取った内容は、職員周知で実現に向けて取り組んでいる。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価 ○ ○ ○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	-	-	-	×	○	○	○	○			